

人とAIが共進化する 社会のデザイン

—— 人文・社会科学の自然科学への関与

日時：2018.3.14.wed 13:00-18:00 (受付：12:30-)

会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

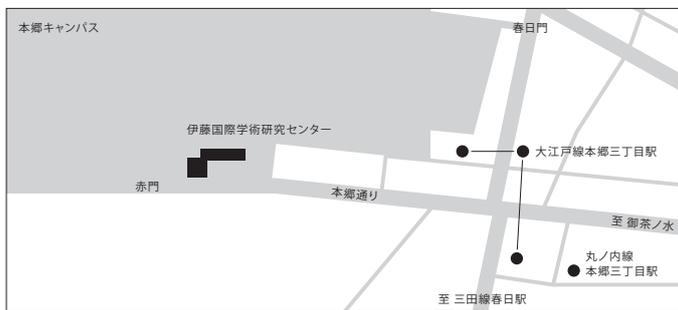
参加費：無料 / 事前登録必要

AIや脳神経科学などの自然科学の進展は、近代以降の人間観—人間が自由意志をもって客体をコントロールしうる—を揺るがしはじめている。「主体」と「客体」の境界が曖昧になる中で、法制度の枠組みや幸福とは何かを問い直すAI時代の新しい学問が今求められている。学術界の国際的な動向としては、19世紀後半の工業化以降の近代社会において分離が進んだ自然科学と人文・社会科学の連携体制の構築の必要性から、2018年にはICSU(国際科学会議)とISSC(国際社会科学評議会)の2つの組織が統合されることになっている。

こうした潮流の中、科学技術振興機構社会技術研究開発センターでは、2016年に「人と情報のエコシステム」領域を立ち上げ、AIが近代的価値にもたらそうとしている危機に回答すべく自然科学の知と人文・社会科学の知が連携した研究開発を推進してきた。本シンポジウムでは領域関係者が一同に介し、具体的な事例を基に2年間の研究開発の成果を議論し今後のより「良い」AI開発のあり方を提言する。

お申し込み・詳細はこちら

<http://ristex.jst.go.jp/hite/topics/296.html>



東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール 東京都文京区本郷7丁目3-1

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX)
お問い合わせ：「人と情報のエコシステム」運営事務局
E-mail: info-ecosystem@jst.go.jp Tel: 03-5214-0133 Fax: 03-5214-0140

特別講演 13:15-13:55

「人工知能の研究開発と人文・社会科学への期待」



安西祐一郎 日本学術振興会理事長、人工知能技術戦略会議議長
独立行政法人日本学術振興会理事長、文部科学省高大接続改革チームリーダー、人工知能技術戦略会議議長、全国大学体育連合会長、日本ユネスコ国内委員会会長を兼務。元慶應義塾塾長、前中央教育審議会会長。新しい時代の教育・学術・科学技術の発展に力を注いでいる。

パネルディスカッション1 14:00-15:10

「AIは本当に人を幸せにするのか」



安藤英由樹
大阪大学大学院情報科学研究科 准教授



ドミニク・チェン
早稲田大学文学学術院 文化構想学部 准教授



尾藤誠司
国立病院機構東京医療センター臨床研究センター
政策医療企画研究部臨床疫学研究室 室長



大竹 暁
科学技術振興機構 上席フェロー



モデレーター：國領二郎
慶應義塾大学総合政策学部 教授
「人と情報のエコシステム」研究開発領域 総括

パネルディスカッション2 15:30-16:40

「新しい技術開発に貢献する
ELSI (Ethical Legal and Social Issues) 研究のあり方」



標葉隆馬
成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科
専任講師



新保史生
慶應義塾大学総合政策学部 教授



小長谷明彦
東京工業大学情報理工学院 教授



モデレーター：城山英明
東京大学大学院法学政治学研究科 / 公共政策大学院 教授 /
「人と情報のエコシステム」研究開発領域 総括補佐

パネルディスカッション3 16:45-17:55

AI時代の「責任・主体」を
心理学・法学・哲学の観点から検討する



葭田貴子
東京工業大学工学院 准教授



稲谷龍彦
京都大学大学院法学研究科 准教授



松浦和也
秀明大学学校教師学部 講師



松原仁
公立ほこだて未来大学複雑系知能学科 教授 /
「人と情報のエコシステム」研究開発領域 アドバイザー



モデレーター：信原幸弘
東京大学大学院総合文化研究科 教授 /
「人と情報のエコシステム」研究開発領域 アドバイザー

